

市営地下鉄ブルーライン快速運転の実施状況について

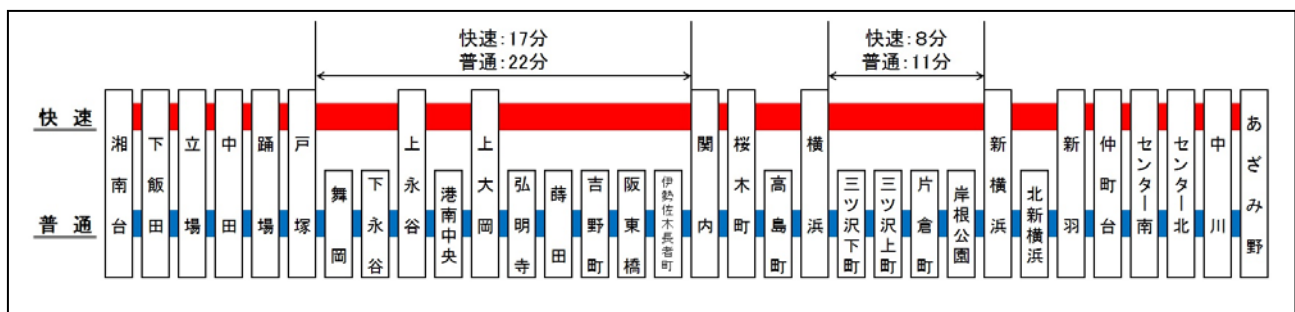
1 経過

市営地下鉄ブルーラインは、主要駅間の所要時間の短縮による利便性の向上や、他社線との競合区間における競争力の強化、郊外部と都心部の一体化など横浜市域のバランスある発展を図ることを目的として、27年7月18日（土）に快速運転を開始しました。

2 快速運転の概要

(1) 停車駅

快速列車は、あざみ野駅から湘南台駅までの32駅のうち、18駅に停車



(2) 主な所要時間

- 横浜駅～新横浜駅（11分 → ノンストップで8分）
- 戸塚駅～関内駅（22分 → 17分）
- 全線（普通列車に対して最大で10分短縮）

(3) 運転時間帯

- 平日（10時～16時）
- 土休日（9時30分～16時）

(4) 運転本数

快速運転開始前の1時間あたり8本を維持しつつ、新たに、快速列車を1時間あたり2本を運転

3 利用状況

快速運転を実施した7月～10月のブルーラインの定期外の乗車人員は増加傾向にあり、26年度と比較して3.3%増加しています。

また、他社線との競合区間における、主要駅間の定期外利用状況は以下のとおりとなっており、快速運転による効果が表れたものと考えています。

乗降駅	26年度	27年度	増加率
横浜駅⇔新横浜駅	約677千人	約759千人	約12%増
戸塚駅⇔関内駅	約83千人	約91千人	約9%増

<27年7/18～10/31 自動改札機通過人員>

4 お客様の声

郊外部から都心部への利便性が向上したことや、ラッシュ時など運転時間帯の拡大、停車駅などに関するご意見をいただく一方で、普通列車の途中駅の折返し運転や、運転間隔の不均等などについてご指摘をいただいています。

5 今後の取組

お客様からの期待も大きく、引き続き利用状況等を検証・分析することで、より利便性の高い快速運転のダイヤ改正を検討してまいります。